

テーマ

地域の課題から国際社会を見据えられる島高生育成のための地域課題解決型キャリア教育

目標

地域の自然や現状を調べることで故郷への誇りと愛着心を育む。
地域の自治体や専門機関の助言を受けつつ、地域課題を確認し課題解決への方策を仲間と共に考える事で、協働する力や課題解決能力を身に付けさせる。
考えた課題解決を発信することで、表現力の育成を図る。
地域の課題解決が、国際社会やSDGsの課題解決につながることを意識させることで、国際人としての視点を身に付けさせる。
これらの取り組みをとおして、将来地元島原半島のリーダーを育てる。

育成したい 資質・能力

故郷への
愛着と誇り

故郷を支える
リーダーシップ

思考力、判断力、表現
力、課題解決能力、コ
ミュニケーション能力

主体的、協働的に
学びに向かう姿勢

国際的視点

長崎県立島原高等学校

(1・2・3年、生徒数□□□名)

連 携

ふるさと教育連携協議会

〔委員長〕校長、〔副委員長〕教頭

教務主任、学年主任、理数科主任、進路指導主事、研修広報主任

<主な取組>

○地域調査（地域理解・課題発見）

- (1) 地域調査における調査方法、地図を用いたの分析方法を理解する
- (2) 地域の行政機関、商店街、事業所等を訪問し、インタビューやアンケート等の調査を実施
- (3) フィールドワーク等を通し地域の特性を理解する

○研究課題の設定（課題設定）

- (1) フィールドワーク、インタビュー等を通した調査結果を検討、分析
- (2) 島原市役所等の助言等による地域課題への現状の取り組みを理解
- (3) 行政機関からアドバイスを受け若者をターゲットにした研究課題の設定

○地域課題解決の研究（課題研究）

- (1) 専門家や市役所、地域活性化に取り組む団体との連携
- (2) 地域課題解決に向けて、グループで協働して解決策を研究

○研究成果の発表（研究成果の発信）

- (1) 島原半島の魅力を再発見して、魅力を外部に発信する。
- (2) 中間報告会（令和5年1月）
- (3) 地元の行政機関や事業所、地域住民、保護者等に向けた実践研究発表会（令和6年1月）

成果 指標

- | | |
|---------------------------------------|------|
| (1) 地元島原の魅力再発見（地元島原が素晴らしいと感じる生徒の割合） | 90% |
| (2) 将来ふるさとの発展に貢献したいという生徒の割合 | 80% |
| (3) 主体的・協働的に学ぶ姿勢の向上 | |
| (4) 生徒に求める資質・能力の育成に資するよう授業改善を行った教員の割合 | 100% |

○島原市教育委員会（予定）
○外部連携機関（予定）

地域社会
(産業、自然
歴史、文化等)

国際的視点

連
携

外部連携機関 (大学・専門機関)

○地域の文化施設（予定）
○県内企業や大学等の研究機関（予定）